

埼玉大学有機農業研究会との交流会

8月23日(月)木細工自治会館に埼玉大学有機農業研究会が昨年に引き続き、本城昇名誉教授を中心とする11名の皆さんが訪れ、午前中は人首町の丘の上にある段長根、人首文庫、小川未明の碑を巡り人首町を散策し、木細工に。自治会館では木細工村おこし会の菊池春男さん達が作ったヤマメの塩焼き付の古代米のお弁当をご馳走になり、交流会を開きました。この研究会は「農的暮らし」や「農的地域起し」等を探求する目的で発足したとのこと。何事にも一生懸命な集団である。交流会には賢治街道を歩く会会員も含め、木細工小・人首小の児童、木細工住民25名程が参加し、彼らの朗読、紙芝居、原体剣舞等を鑑賞しました。朗読の中で、宮沢賢治も登場し、とても楽しい交流会になりました。原体剣舞を踊った二人は二日間によく覚えた后感心させられました。また、プロのストーリーテラー古谷和子さんの琵琶を演奏しての語りは本当に素晴らしかった。来年の再会が楽しみです。来年はいっぱい集めておくからね。



二代目竹山さん✦ボイススペース かがり火の焰の中でミニライブ。

中原中也研究者・詩人として著名な佐々木幹朗さんを中心とする二代目竹山さんや芸大出身の音楽家のグループ「ボイススペース」(ピアニスト小田朋美さん、フルート奏者豊田耕三さん)によるミニライブが行われた。それも無料で、あの有名なミュージシャンの演奏が聴けるなんて夢のようでした。彼らは時々三陸の被災地に慰問ライブツアーに来ているとのこと。その途中に人首文庫の館主佐伯研二さんとの中原中也研究が縁で彼を訪れたのがきっかけで、佐々木先生が興味を持っていた兄和田念仏剣舞見学の機会を得た。その剣舞連へのお礼として今回のミニライブを開くことになり、私たちもお相伴となったわけで、剣舞関係者、会員50名程が感動の1時間半を過ごす

ことができました。

佐々木先生からは津軽三味線など日本の伝統の音楽や民謡に魅力を解説していただきました。小田さんの「星めぐりのうた」、豊田さんの篠笛の音色は心にじーんと染み入りました。最後に竹山さんのソロには鳥肌が立つくらいの感動を覚えました。無料だからそれほど高をくくっていた私達が恥ずかしい。プロは手を抜かないことに感銘し、レベルの高い演奏に幸せなひと時を過ごすことができました。来年は琴の演奏も入るといふ。楽しみである。山村の人達は芸術に、特に生の演奏に飢えているだけに。感謝、感謝の一夜でした！



正に雨ニモマケズの「風の又三郎マラソン大会」

9月13日(日)米里振興会体育部との連携でこれまで人首で行っていたファミリーマラソンを種山ヶ原に会場を替えて「第1回風の又三郎マラソン大会」を開催しました。宮沢賢治の童話「風の又三郎」の原風景の残る種山ヶ原で、賢治作品への入口の一つとして実施しました。

今回は第1回目でもあり、地元の人首小学校・木細工小学校に呼びかけたところ、29名の児童が参加してくれました。最初は牧草地を走らせたいと思いましたが、市からの指導もありやむなく風の又三郎像をスタート・ゴール地点にし、アスファルト道路を走らせることにしました。アメダス入口までの低学年(1km)高学年(2.3km)の部で実施しました。あいにく台風の影響もあり、種山ヶ原独特のガスがかかり、少し雨が降る中、子ども達は元気にスタート。空を飛んで来たかのようにあっという間に星座の森に帰ってきました。走るのが苦手な？児童が参加したウォーキングの部は、中学生がサポート役でつき、物見山に登り、50分後には全員無事ゴール。マラソン大会を終える頃には雨が降り始め、「星座の森」のご配慮で開放してくれたコテージ等で着替えをしました。また、レストランも私達に開放して

いただきました。表彰式はレストランで杉田会長から低学年にはタオルとジャンボどら焼き、高学年には賞状と盾を、鳴瀬振興会からは千田武宏さんがリンゴジュース二本入りの豪華な商品を。約束の手造り木製メダルは木細工村おこし会の菊池春男さんから全員に首にかけていただき誇らし気でした。米里リンゴ園からは、全員にりんごを、体育部からは素敵なロケット式ボールペンをいただき大変喜んでいました。色々な処からのご芳志に感謝！

次のプログラム「フィルムケースロケット作り」もレストランで、阿部恵彦先生の指導でスタート。ロケットが飛ぶ原理を様々な実験を通して丁寧に教えていただき、納得の子ども達でした。さすがは阿部先生である。いよいよ工作へ。1年生も多くいるので、PTAも参加してのロケット作りになり、和気あいあいととても良い雰囲気でした。完成の頃には雨もあがり、西の方は雲の間から夕陽が見えてきました。いよいよ自分の作ったロケットが飛ぶか、心配そうな子ども達。親も心配そうにじっとロケットを見ている姿もとてもいい。気持ち・願いが一つになったひと時でした。やがてパーンと飛ぶと一斉に拍車が起き、夕空に小さな宇宙への思いが生まれたようでした。どの子のロケットも飛び、子ども達は大満足で、種山ヶ原を後にしました。

今回の取り組みにご協力頂いた安全部、両教育振興会、PTA、駅伝部、そして豪華な賞品を提供していただいた鳴瀬振興会、スタッフとして働いてくれた東中学校野球部の後藤君、菅野君、本当にありがとうございました。今回雨のために延期したミニコンサート、星の観察会は10月に実施しますので、またご協力をお願いいたします。

※手作りの木製メダル(右の写真)を贈ろうと、木細工村おこし会との共同で作りました。ヒバの板は大内住建さんから提供していただき、三井紀悦さん、佐伯研二さんが大内喜三さんの指導で作製しました。全て初めての取り組みで大変でしたが、ヒバの香りが良く、素人にしては良い出来で満足しています。ヒバ材だけに香りがよく好評です。





霧の中、杉田体育部長の挨拶



家子美月さんが選手宣誓 急なお願いにもきちんとやってくれました。



いよいよスタート



辛うじて残っている野芝の野原を



物見山山頂で。雨の中よく頑張ったね！



低学年の部第1位齋藤大夢君



木細工村おこし会長春男さんから手作りのメダル 講師の阿部先生から 親も子供も熱心だね



親子で工作作り。いい雰囲気だね！



親子の願いは一つ。なかなか飛ばなかったけど
発射成功！宇宙へ？



スタッフ全員ではないですが・・・